

令和5年4月26日
国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所
常総国道事務所
宇都宮国道事務所
北首都国道事務所

令和5年度

関東地方整備局（茨城県内）道路関係予算の概要について

常陸河川国道事務所、常総国道事務所、宇都宮国道事務所、北首都国道事務所では、東関東自動車道、一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）をはじめ茨城県内の下記の道路整備を行っています。

令和5年度は、4事務所計約338億円で事業を実施します。

主な事業箇所は、以下のとおりです。

《主な事業箇所》

1. 東関東自動車道水戸（みと）線（潮来（いたこ）～鉾田（ほこた））【常総国道事務所】
2. 一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）【常総国道事務所、北首都国道事務所】
3. 一般国道6号 牛久土浦（うしくつちうら）バイパス【常総国道事務所】
4. 一般国道6号 千代田石岡（ちよだいしおか）バイパス【常陸河川国道事務所】
5. 一般国道50号 結城（ゆうき）バイパス【宇都宮国道事務所】

令和5年5月27日全線4車線化開通します

6. 一般国道51号 神宮橋（じんぐうばし）架替【常陸河川国道事務所】上部工に着手します

<発表記者クラブ> 茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 常陸河川国道事務所

電話：029-240-4061（代表） FAX：029-240-4085

副所長（技） 石崎 睦（いしざき むつみ）（内線：205）

関東地方整備局 常総国道事務所

電話：029-826-2040（代表） FAX：029-829-4671

副所長（技） 阿部 稔（あべみのる）（内線：205）

関東地方整備局 宇都宮国道事務所

電話：028-638-2181（代表） FAX：028-638-2873

副所長（技） 松澤 義明（まつざわ よしあき）（内線：204）

関東地方整備局 北首都国道事務所

電話：048-942-4041（代表） FAX：048-942-8205

副所長（技） 川路 隆之（かわじ たかゆき）（内線：204）

一 目 次

■令和5年度 主な茨城県内直轄事業予算総括表	3
■事業箇所図	4
改築事業	
①東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）	5
②国道468号 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）	6
③国道4号 春日部古河バイパス	7
④国道6号 牛久土浦バイパス	8
⑤国道6号 千代田石岡バイパス	9
⑥国道6号 酒門町交差点立体	10
⑦国道6号 東海拡幅	11
⑧国道6号 大和田拡幅	12
⑨国道6号 日立バイパス（Ⅱ期）	13
⑩国道6号 勿来バイパス	14
⑪国道50号 結城バイパス	15
⑫国道50号 下館バイパス	16
⑬国道50号 協和バイパス	17
⑭国道50号 桜川筑西IC関連（延伸）	18
⑮国道51号 潮来バイパス	19
⑯国道51号 神宮橋架替	20
交通安全事業	
⑰国道6号 小鶴西交差点周辺改良	21
⑱国道50号 泉町歩道橋整備	22
⑲国道51号 子生歩道整備	23
電線共同溝事業	
⑳国道6号 田彦電線共同溝 他11箇所	24
維持管理	25
道路調査の見通し	26

令和5年度 主な茨城県内直轄事業予算総括表

令和5年度の主な茨城県内直轄事業の事業別内訳は以下のとおりです。

令和5年度 主な茨城県内 事業費

(単位：百万円)

事業名	事業費				
	常総国道	常陸河川国道	宇都宮国道	合計	
改築事業					
	東関東自動車道	19,800 ※ 1		－	19,800
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道 （圏央道）	－	－	－	－ ※ 3
	国道4号 春日部古河バイパス	－	－	371	371
	国道6号 牛久土浦バイパス	3,450	－	－	3,450
	国道6号 千代田石岡バイパス	－	1,660	－	1,660
	国道6号 酒門町交差点立体	－	120	－	120
	国道6号 東海拡幅	－	550	－	550
	国道6号 大和田拡幅	－	1,375	－	1,375
	国道6号 日立バイパス（Ⅱ期）	－	508	－	508
	国道6号 勿来バイパス	－	540	－	540
	国道50号 結城バイパス	－	330 ※ 2		330
	国道50号 下館バイパス	－	1,025	－	1,025
	国道50号 協和バイパス	－	180	－	180
	国道50号 桜川筑西IC関連（延伸）	－	120	－	120
	国道51号 潮来バイパス	－	71	－	71
	国道51号 神宮橋架替	－	2,183	－	2,183
交通安全事業 （Ⅰ種）	国道6号 小鶴西交差点周辺改良 国道50号 泉町歩道橋整備 国道51号 子生歩道整備 等	－	570	－	570
交通安全事業 （Ⅱ種）	国道4号 国道6号 国道50号 国道51号	道路標識、区画線、CCTV等		－	229
電線共同溝事業	国道6号 田彦電線共同溝 他11箇所	－	815	－	815
合計					33,897

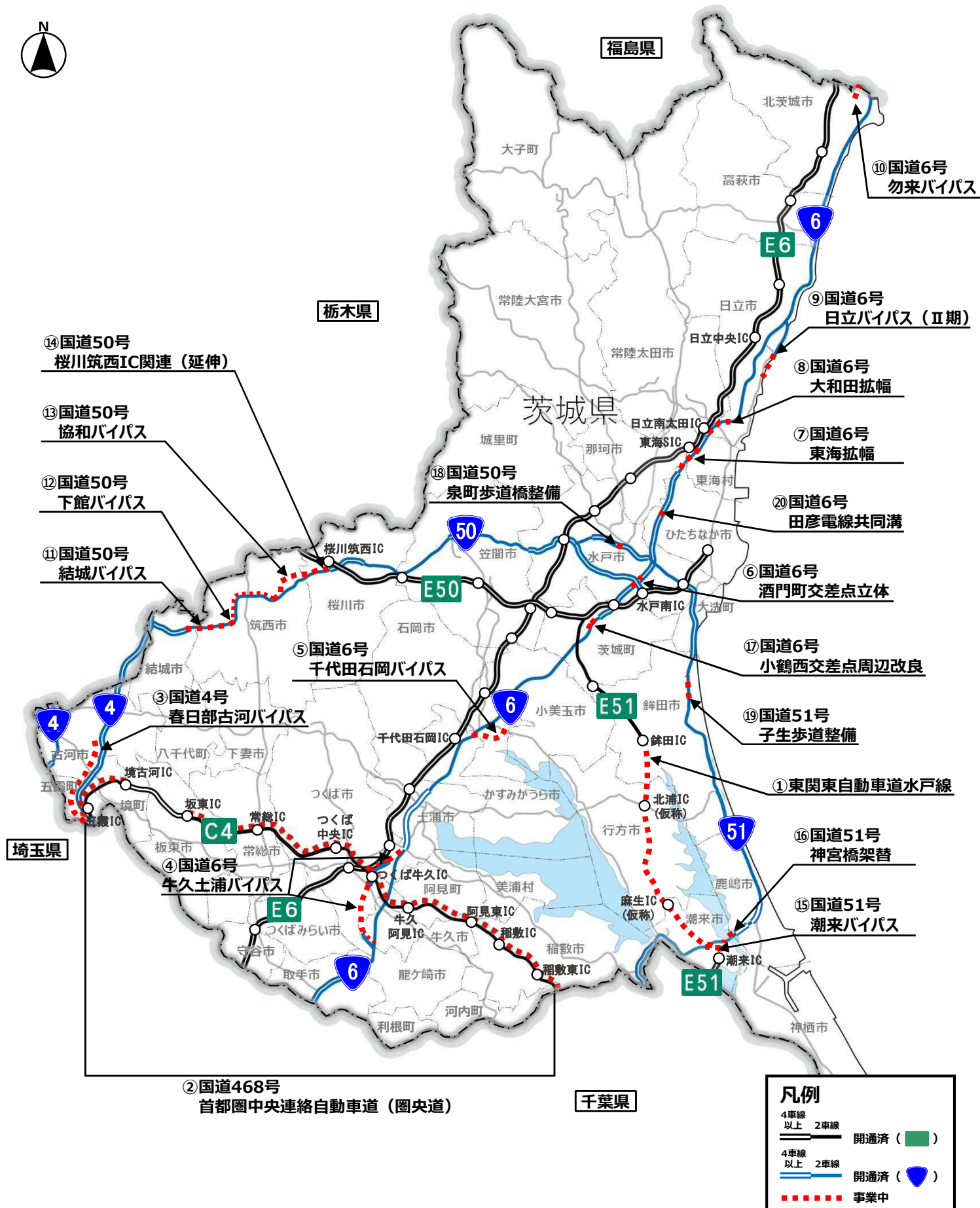
※ 1 東関東自動車道水戸線 (潮来～銚田) については、常陸河川国道事務所及び常総国道事務所にて、事業を実施しています。事業費については両事務所の総計を記載しております。

※ 2 国道50号結城バイパスについては、常陸河川国道事務所及び宇都宮国道事務所にて、事業を実施しています。事業費については両事務所の総計を記載しております。

※ 3 関東地方整備局関係予算とは別に、財政投融資を活用して、久喜白岡JCT～大栄JCT間については、4車線化事業を実施します。

※ 4 上記のほか、維持管理費、調査費、大規模災害関連事業等があります。

茨城県内における主な直轄事業（道路）は、下図の箇所において実施します。



ひがしかんと うじ どうしゃ どうみ と せん いたこ ほこた
①東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）
（潮来市、行方市、鉾田市）

常陸河川国道事務所

常総国道事務所

R5年度事業費 19,800百万円

事業の概要

東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）は、重要港湾群（鹿島港、茨城港）や国際拠点である成田国際空港・茨城空港へのアクセス性の向上や常磐自動車道、国道51号の災害時の代替路線の確保を図るとともに、北関東地域と東関東地域の連携交流の促進に寄与する事業で、令和7～8年度開通を目指し事業を推進しています。



なめがた りょうしゆく きたうら
行方市両宿地区（仮）北浦IC



令和5年度予定

○調査設計、橋梁上下部工事、函渠工事、改良工事及び跨道橋工事を実施する予定です。



事業の効果

- 重要港湾群（鹿島港、茨城港）ならびに国際拠点である成田国際空港・茨城空港へのアクセスが向上し、国際競争力の強化が期待されます。
- 災害発生に伴う代替路線として、高速道路ネットワークを形成し緊急輸送路の役割を果たすことが期待されます。
- 他の高速道路とネットワーク化が図られ、周辺の観光資源へのアクセス性が向上し、周遊機会の増加が期待されます。

しゅ と けんちゅうおうれんらく じ どう しゃ どう けんおうどう
②国道468号 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
（五霞町、境町、坂東市、常総市、つくば市、牛久市、阿見町、稲敷市）

北首都国道事務所

常総国道事務所

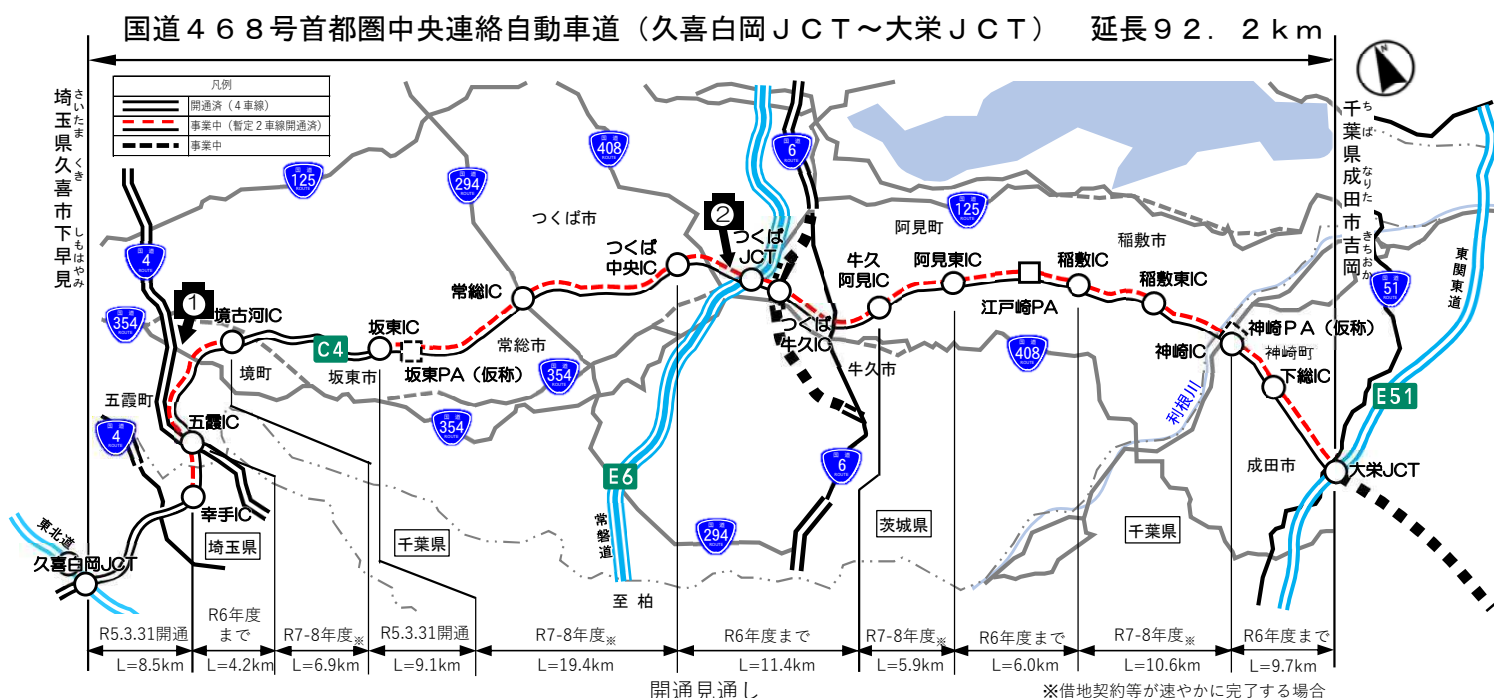
事業の概要

国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の幹線道路の骨格となる3環状9放射の道路ネットワークを形成し、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された総延長約300kmの環状の高規格幹線道路です。

そのうち、久喜白岡JCT～大栄JCT間については、東日本高速道路株式会社と共同で4車線化事業を実施*しています。

令和5年度予定

○調査設計、橋梁上下部工事、改良工事を実施する予定です。



令和5年2月撮影



五霞IC～境古河IC(利根川橋付近)

令和5年2月撮影



つくば中央IC～つくばJCT(館野高架橋付近)

事業の効果

○圏央道沿線では企業立地が進み、雇用や税収の増加といった効果が現れています。

物流の効率化等により、企業活動の生産性が向上しています。

* 関東地方整備局関係予算とは別に、財政投融資を活用して、4車線化事業を実施

③国道4号 春日部古河バイパス (五霞町、境町、古河市)

宇都宮国道事務所

R5年度事業費 371百万円

事業の概要

新4号国道は、埼玉県越谷市を起点とし栃木県宇都宮市に至る、延長約80.5kmの道路です。宇都宮国道事務所では、茨城県猿島郡五霞町から栃木県宇都宮市までの延長約62kmの区間の整備を行っています。

新4号国道が整備されることにより、地域間の連携を強化し、並行する現道や市街地周辺の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図ります。

令和5年度予定

○調査設計、幸主地区の改良工事及び（仮）

元栗橋跨道橋の下部工事を実施する予定です。



①（仮）元栗橋跨道橋（消防署前交差点）付近



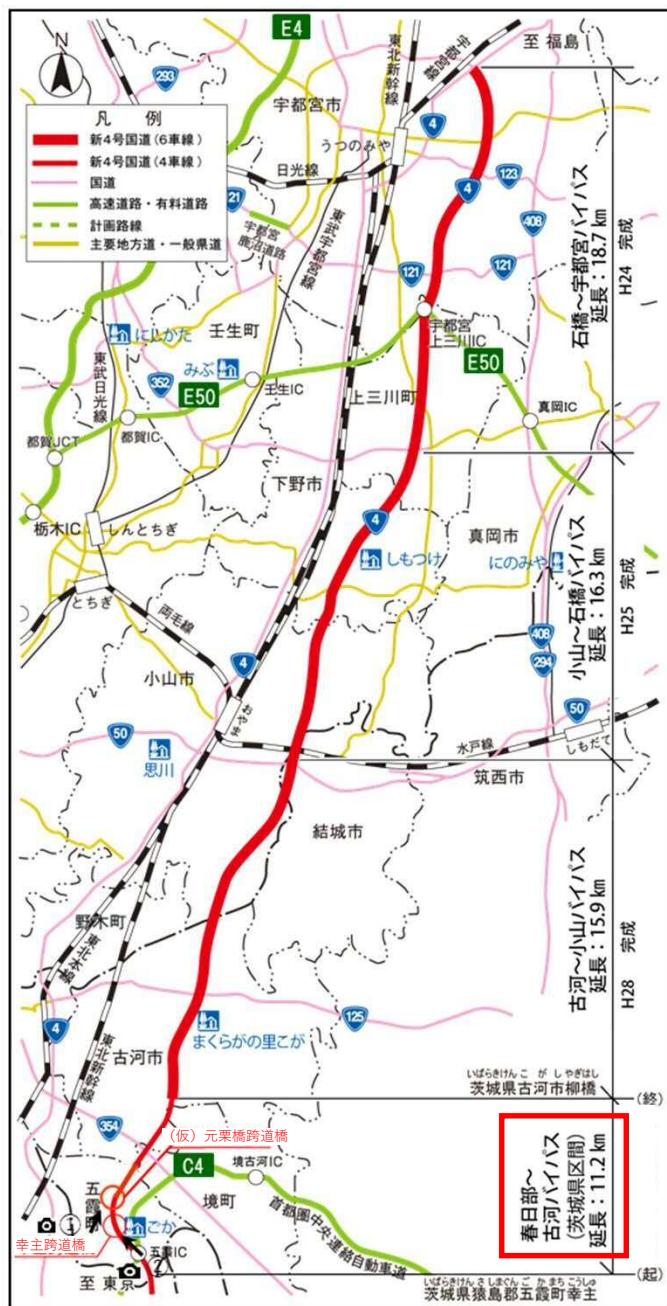
② 幸主跨道橋付近

事業の効果

○春日部古河バイパスの整備により、現道の交通がバイパスへ転換し、渋滞の緩和が見込まれます。

○現道や平行路線からの交通転換が図られ、交通事故の減少が見込まれます。

○沿線地域に多くの工業団地が整備されており、地域産業の活性化への支援が期待されます。



④国道6号 牛久土浦バイパス (牛久市、つくば市、土浦市)

常総国道事務所

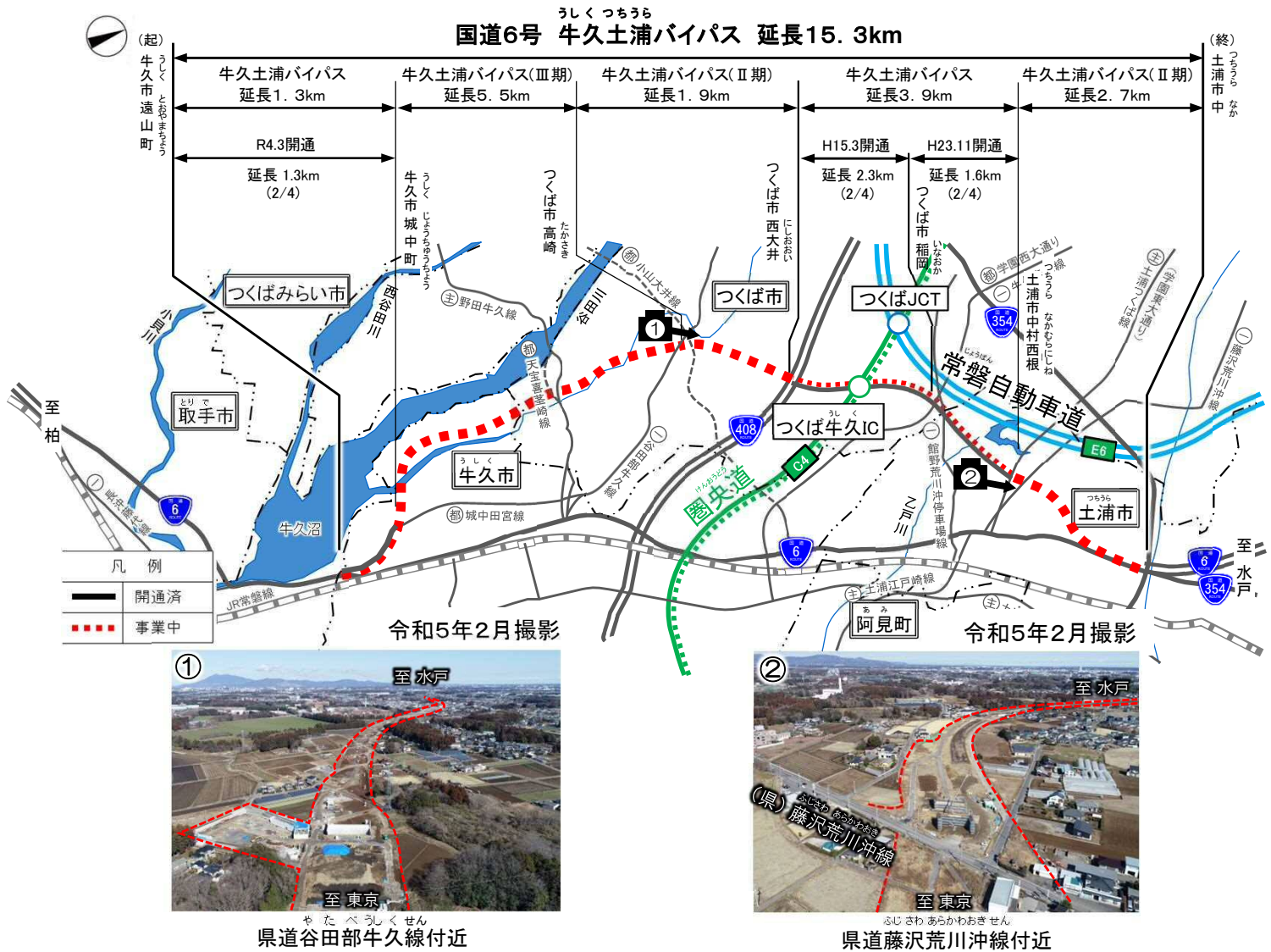
R5年度事業費 3,450百万円

事業の概要

国道6号牛久土浦バイパスは、牛久市、土浦市周辺市街地の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び首都圏中央連絡自動車道へのアクセス向上を目的とした、延長15.3kmのバイパス事業です。平成23年11月までに、国道408号から学園東大通りまでの延長3.9kmが、令和4年3月26日に起点側国道6号から都市計画道路城巾田宮線までの延長1.3kmが暫定2車線で開通しています。

令和5年度予定

○調査設計、用地買収、改良工事、橋梁上部工事を実施する予定です。



事業の効果

- 国道6号現道から交通の転換が図られ、混雑緩和および事故の減少が見込まれます。
- 圏央道へのアクセスを強化するとともに、周辺地域への大規模商業施設の立地など地域の活性化を支援します。

ちよだいしおか
⑤国道6号 千代田石岡バイパス
(土浦市、かすみがうら市、石岡市、小美玉市)

常陸河川国道事務所

R5年度事業費 1,660百万円

事業の概要

ちよだいしおか つちうら いしおか
国道6号千代田石岡バイパスは、土浦市、かすみがうら市及び石岡市内の交通混雑緩和を
目的としたバイパス事業です。

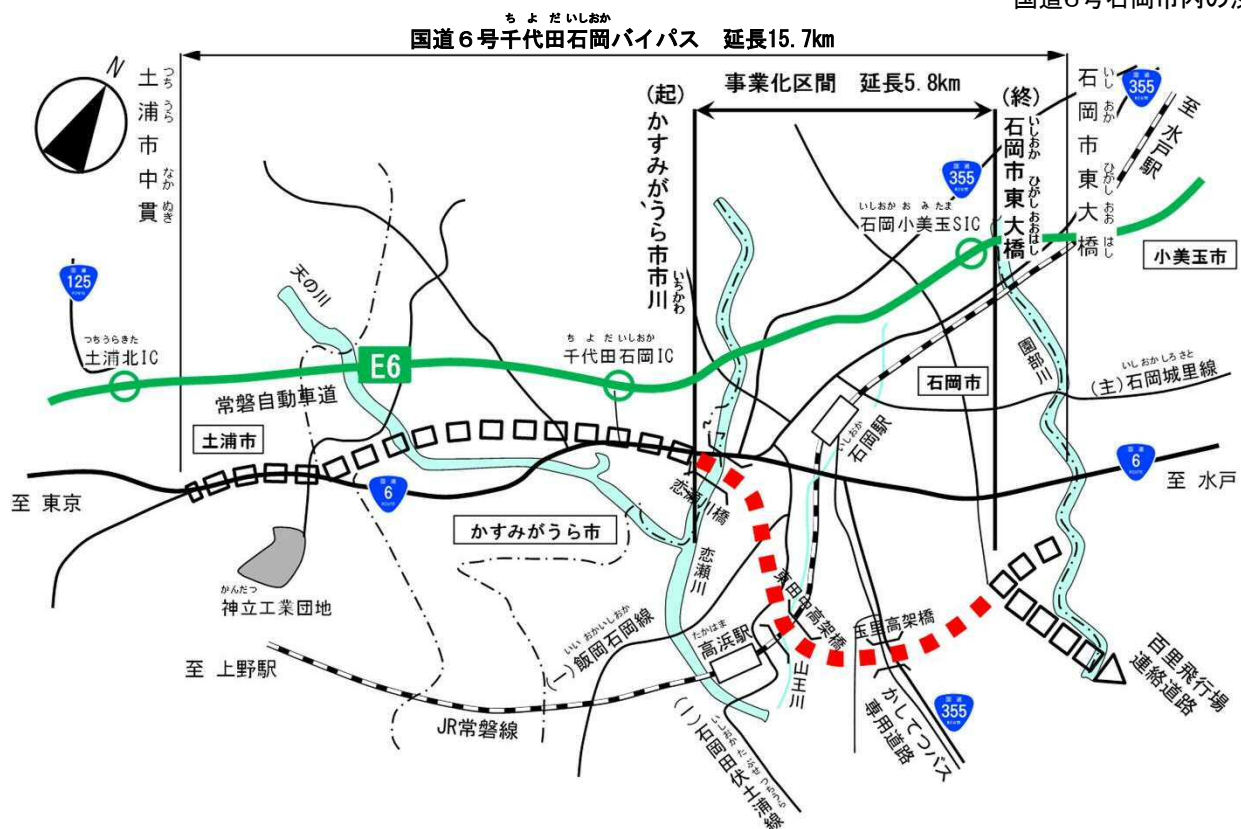
ひやくり ひこうじょう
平成10年12月にかすみがうら市市川から石岡市東大橋までの延長5.8kmが地域高規格道路「百里飛行場連絡道路」として整備区間に指定されています。

令和5年度予定

○調査設計、用地買収、改良工事、橋梁上下部工事を実施する予定です。



国道6号石岡市内の渋滞状況



事業の効果

- 茨城空港へのアクセスが向上し、茨城空港の更なる利用者の増加や物流機能の強化が期待されます。
- 国道6号現道の交通混雑が緩和され、周辺地域の物流の効率性の向上が期待されます。

とうかい
⑦国道6号 東海拡幅
(那珂市、東海村)

常陸河川国道事務所

R5年度事業費 550百万円

事業の概要

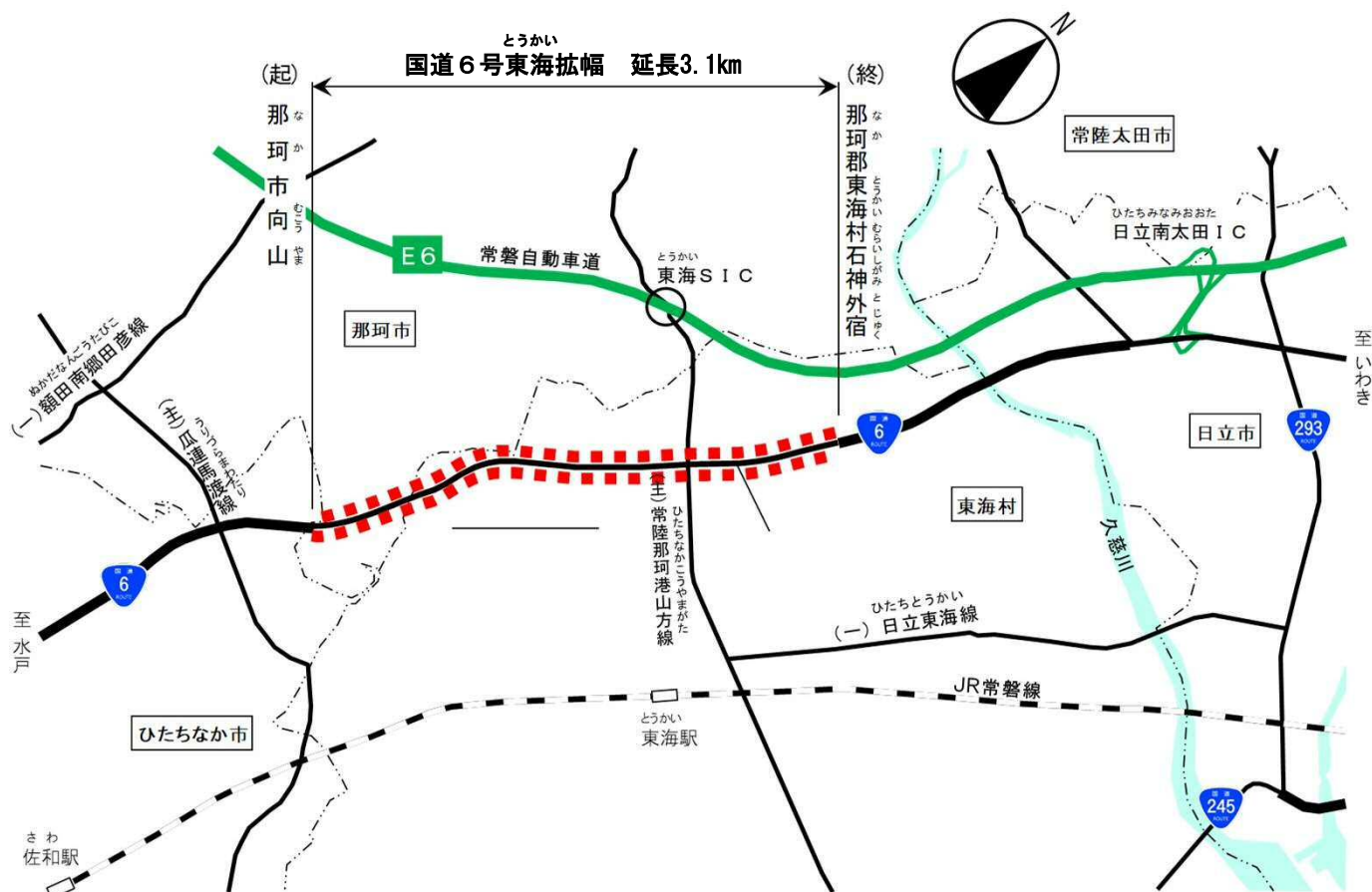
国道6号東海拡幅は、那珂市及び東海村内の交通混雑緩和と交通安全の確保及び物流生産性向上を目的とした那珂市向山から那珂郡東海村石神外宿までの延長3.1kmの現道拡幅事業です。

令和5年度予定

○調査設計、用地買収、環境整備工事を実施する予定です。



東海拡幅区間の渋滞状況



事業の効果

○東海拡幅の整備により、渋滞ボトルネックが解消し著しい速度低下に起因する交通事故が減少するとともに、平常時・災害時を問わない物流確保による生産性向上への支援が期待されます。

⑧国道6号 大和田拡幅
(日立市)

おおわだ

常陸河川国道事務所

R5年度事業費 1,375百万円

事業の概要

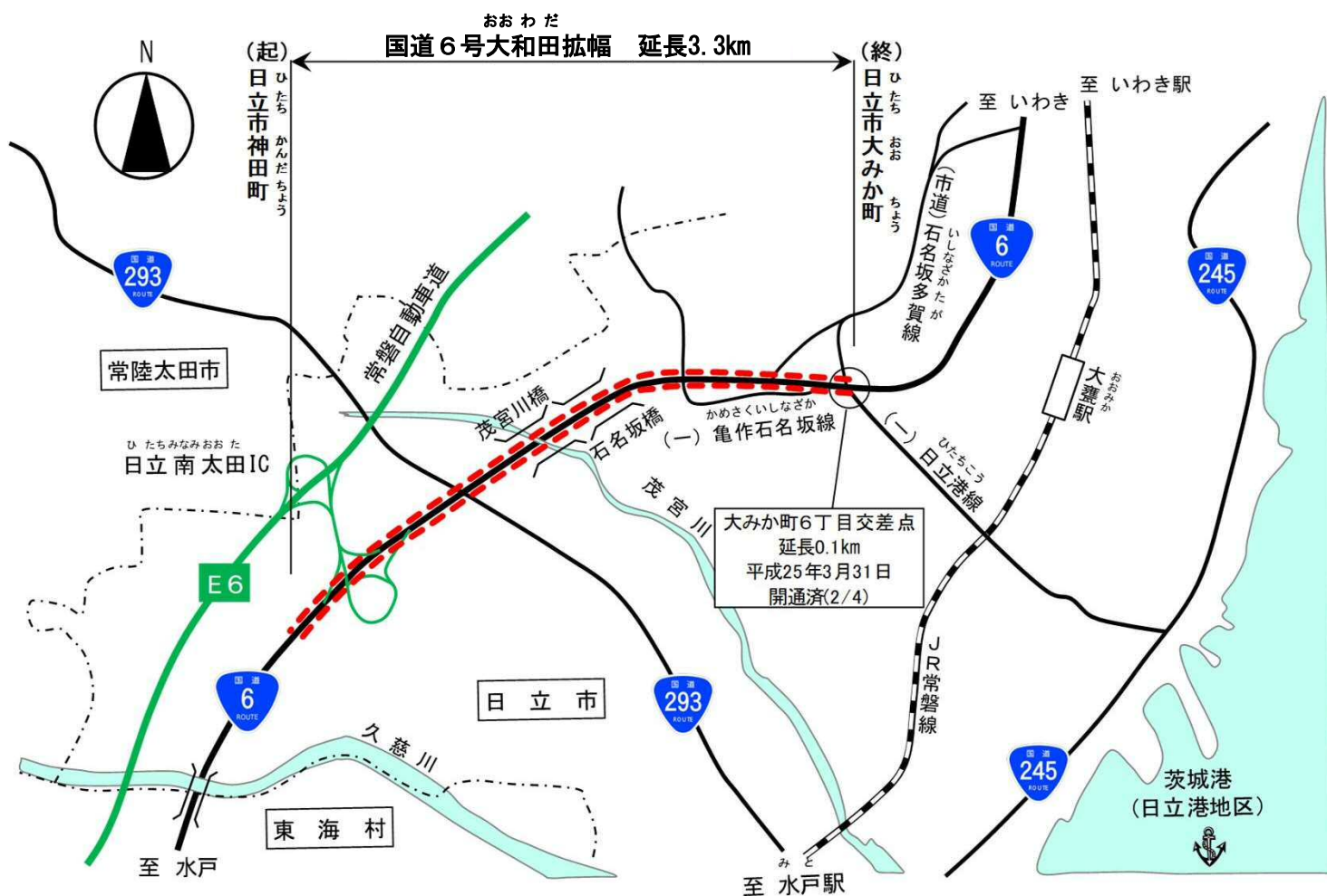
国道6号大和田拡幅は、日立市内の交通混雑緩和を図るとともに、茨城港(日立港地区)、日立南太田ICとのアクセス向上を目的とした日立市神田町から同市大みか町までの延長3.3kmの現道拡幅事業です。

令和5年度予定

○調査設計、用地買収、改良工事を実施する予定です。



至水戸
至いわき
おおわだ
大和田拡幅区間の渋滞状況



事業の効果

○大和田拡幅の整備により、日立南太田ICから茨城港日立港区や周辺工場間のアクセス性向上などによる地域産業の発展が期待されます。

R5年度事業費 508百万円

事業の概要

ひ たち
ひ たち
ひ たち

国道6号日立バイパス(Ⅱ期)は、日立市内の交通混雑緩和と交通安全の確保を目的とした日立

こくぶちょう
あさひちょう

市国分町から同市旭町までの延長3.0kmのバイパス事業です。

令和5年度予定

○調査設計、用地買収、環境整備工事を実施する予定です。



ひたち 日立バイパス(Ⅱ期)区間の渋滞状況



事業の効果

○日立バイパスの整備により、日立市内の工場間の配送所要時間が短縮されるなど、物流効率が向上し、物流コストの低減や生産性の向上が図られることで地域産業の活性化が期待されます。

⑩国道6号 勿来バイパス (北茨城市、いわき市)

常陸河川国道事務所

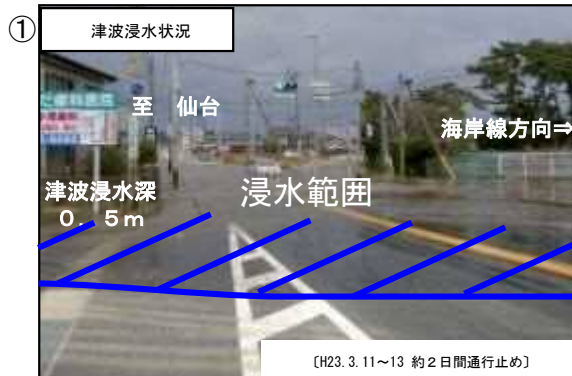
磐城国道事務所

R5年度事業費 540百万円

※事業費は、常陸河川国道事務所分を記載

事業の概要

国道6号勿来バイパスは、常磐バイパスと一体となって茨城県北茨城市から福島県いわき市を結ぶ主要幹線道路の整備であり、災害時の代替路の確保及び交通渋滞の緩和等を目的とした延長4.4kmのバイパス事業です。常陸河川国道事務所においては、茨城県区間（北茨城市関本町関本中～同市関本町関本中1.9km）の整備を進めています。



勿来バイパスに並行する現道の状況

令和5年度予定

○調査設計、用地買収、改良工事を実施する予定です。



事業の効果

○勿来バイパスの整備により、津波浸水等の災害リスクを回避するネットワークが確保されるとともに、渋滞の緩和、アクセス改善により、茨城・福島県境沿岸地域の観光地の活性化が期待されます。

⑪国道50号 結城バイパス
(結城市、筑西市)

宇都宮国道事務所

常陸河川国道事務所

R5年度事業費 330百万円

事業の概要

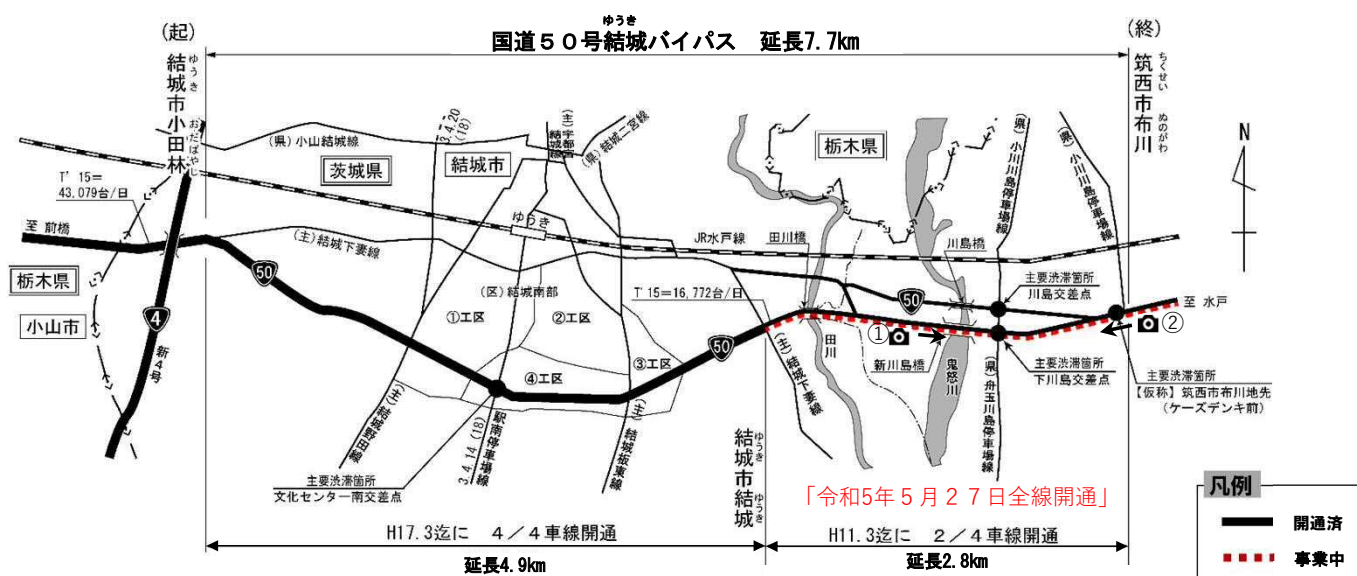
国道50号結城バイパスは、茨城県結城市小田林から筑西市布川までの、延長7.7kmのバイパス事業です。

結城バイパスが整備されることにより、並行する現道の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図ります。

令和5年度予定

○令和5年5月27日に全線4車線開通します。

○現道50号川島橋撤去に係る設計を含む調査設計、改良工、舗装工を実施する予定です。



① 新川島橋の施工状況



② 筑西市布川から前橋方面を望む

事業の効果

○結城バイパスへの交通の転換により、国道50号現道の交通量が減少し、交通量が緩和します。

○通過交通の転換に伴い安全性の向上や交通事故の減少が期待されます。

⑫国道50号 下館バイパス
(筑西市)

しも だて

常陸河川国道事務所

R5年度事業費 1,025百万円

事業の概要

国道50号下館バイパスは、筑西市内の交通混雑緩和と交通安全の確保を目的とした筑西市下川島から同市横塚までの延長10.6kmのバイパス事業です。

令和5年度予定

○調査設計、用地買収、改良工事、橋梁下部工事を実施し、下館跨線橋上部工事に着手予定です。



下館バイパス区間の渋滞状況



事業の効果

○下館バイパスの整備により、北関東自動車道の桜川筑西ICや周辺工業団地へのアクセス性が向上し、周辺企業の物流効率の向上や地域の活性化が期待されます。

きょうわ
⑬国道50号 協和バイパス
(筑西市、桜川市)

常陸河川国道事務所

R5年度事業費 180百万円

事業の概要

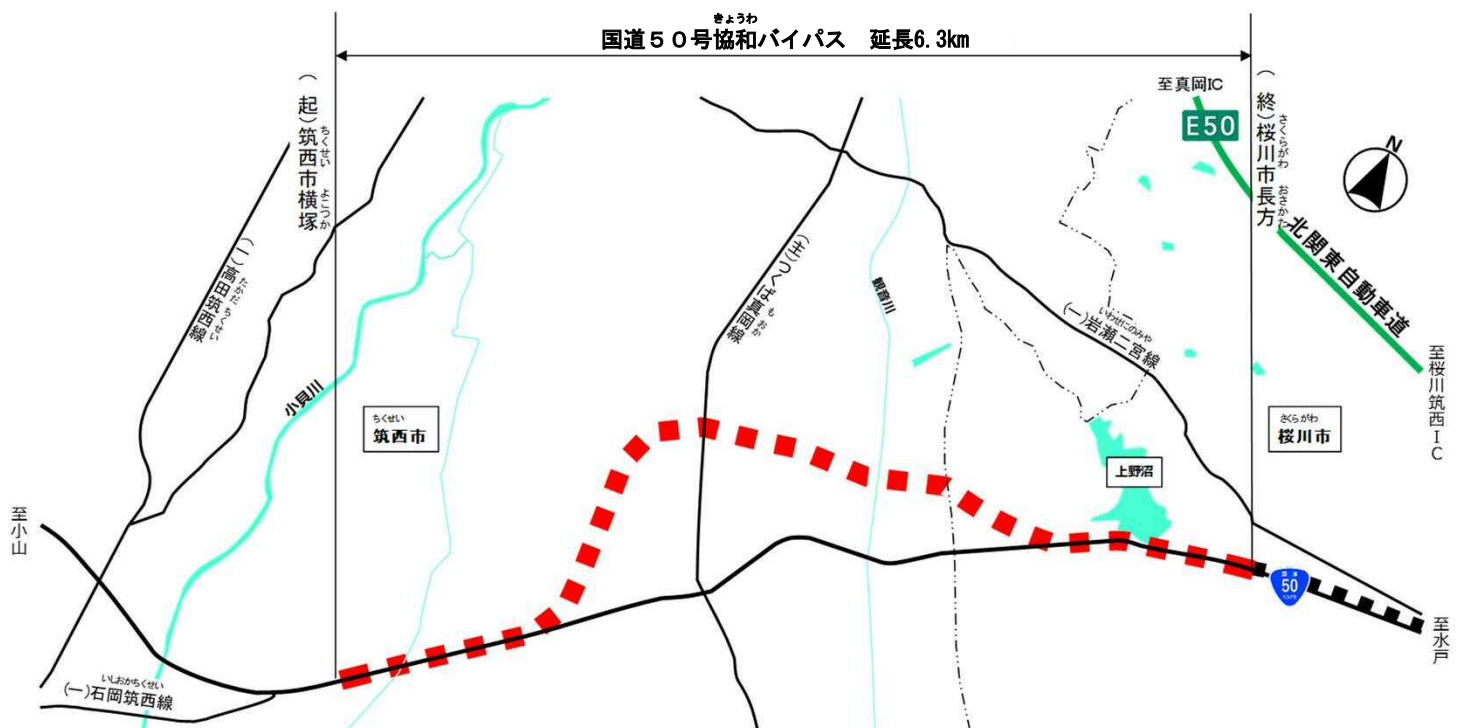
国道50号^{きょうわ}協和^{ちくせい}バイパス^{さくらがわ}は、筑西市及び桜川市内の交通混雑緩和と交通安全の確保及び物流生産性向上を目的とした茨城県筑西市横塚^{いばらき}から桜川市長方^{ちくせい}までの延長6.3kmのバイパス事業です。

令和5年度予定

○調査設計、用地買収を実施する予定です。



国道50号の渋滞状況



事業の効果

- 交通容量を確保し、茨城県と栃木県を結ぶ東西軸の速達性向上が期待されます。
- 渋滞ボトルネックの解消により、著しい速度低下に起因する交通事故減少が期待されます。
- 県内有数の農作物生産地から首都圏各所へ物流の効率性向上が期待されます。

⑭国道50号 桜川筑西IC関連（延伸）
（桜川市）

さくらがわちくせい

常陸河川国道事務所

R5年度事業費 120百万円

事業の概要

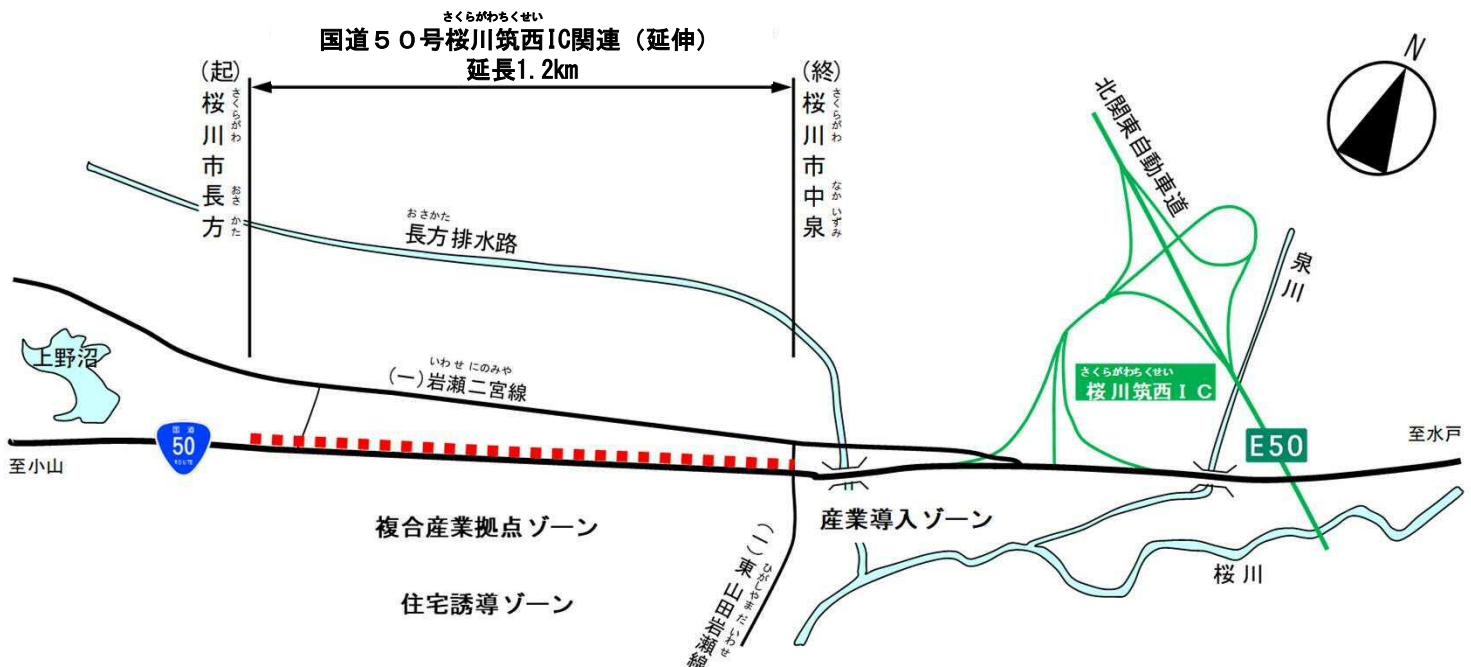
国道50号桜川筑西IC関連（延伸）は、国道50号と北関東自動車道桜川筑西ICとの連携強化、開発が予定されている桜川筑西IC周辺地区整備計画により増加が見込まれる交通量に対応するため、国道50号の幹線道路としての機能を強化し、広域的に円滑な交通の確保を目的とした桜川市長方から同市中泉までの延長1.2kmの現道拡幅事業です。

令和5年度予定

○令和7年春頃開通予定（用地取得が順調に進んだ場合）に向け、調査設計、用地買収、改良工事を実施する予定です。



さくらがわちくせい
桜川筑西IC関連（延伸）区間の渋滞状況



事業の効果

○桜川筑西IC関連（延伸）沿線の整備により、地域医療センターの開業など沿線で進行している開発計画とあいまって企業の立地を促進するなど、新たな雇用創出への貢献や地域医療の支援が期待されます。

⑮国道51号 潮来バイパス (潮来市)

常陸河川国道事務所

R5年度事業費 71百万円

事業の概要

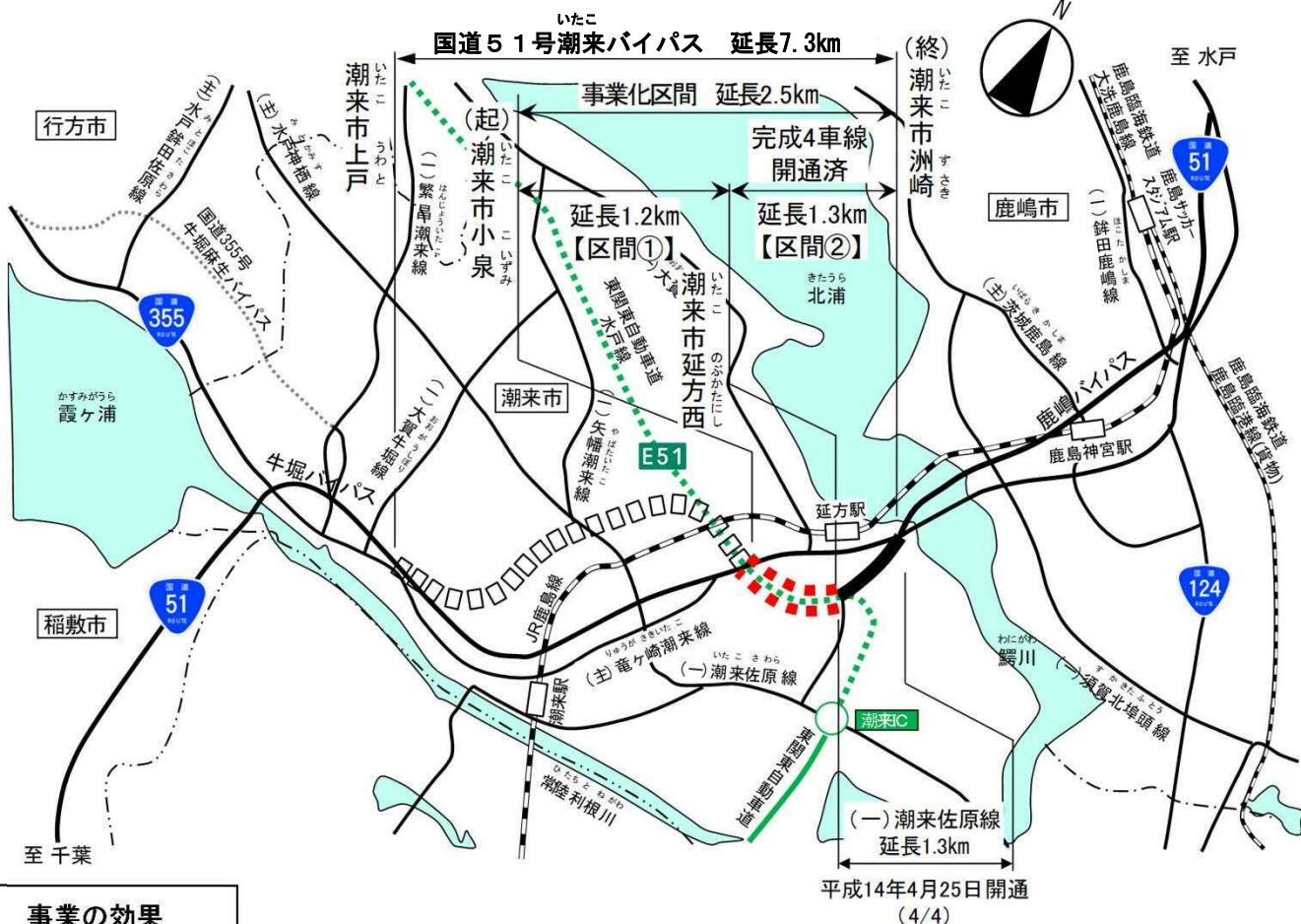
国道51号潮来バイパスは、潮来市街地における交通渋滞の緩和を図るとともに、潮来市のまちづくりと一体となって地域の活性化に寄与することを目的とした潮来市小泉から同市洲崎までの延長2.5kmのバイパス事業です。

令和5年度予定

- 調査設計、用地買収、改良工事を実施する予定です。



潮来バイパス区間の渋滞状況



事業の効果

- 潮来バイパスの整備により、鹿島臨海工業地帯や鹿島港(重点港湾)へのアクセスの向上など、物流機能の強化や地域産業の発展が期待されるとともに、観光施設へのアクセス性が向上し、地域の観光客の増加が期待されます。

R5年度事業費 2,183百万円

事業の概要

国道 5 1 号神宮橋は、架設後 5 0 年以上が経過した老朽橋であり、東日本大震災により橋脚にひびわれと沈下・傾斜が生じています。

今後、大きな地震により、落橋・倒壊に至る恐れのある変状が生じる可能性があるため橋梁の架け替えを行う事業です。

令和5年度予定

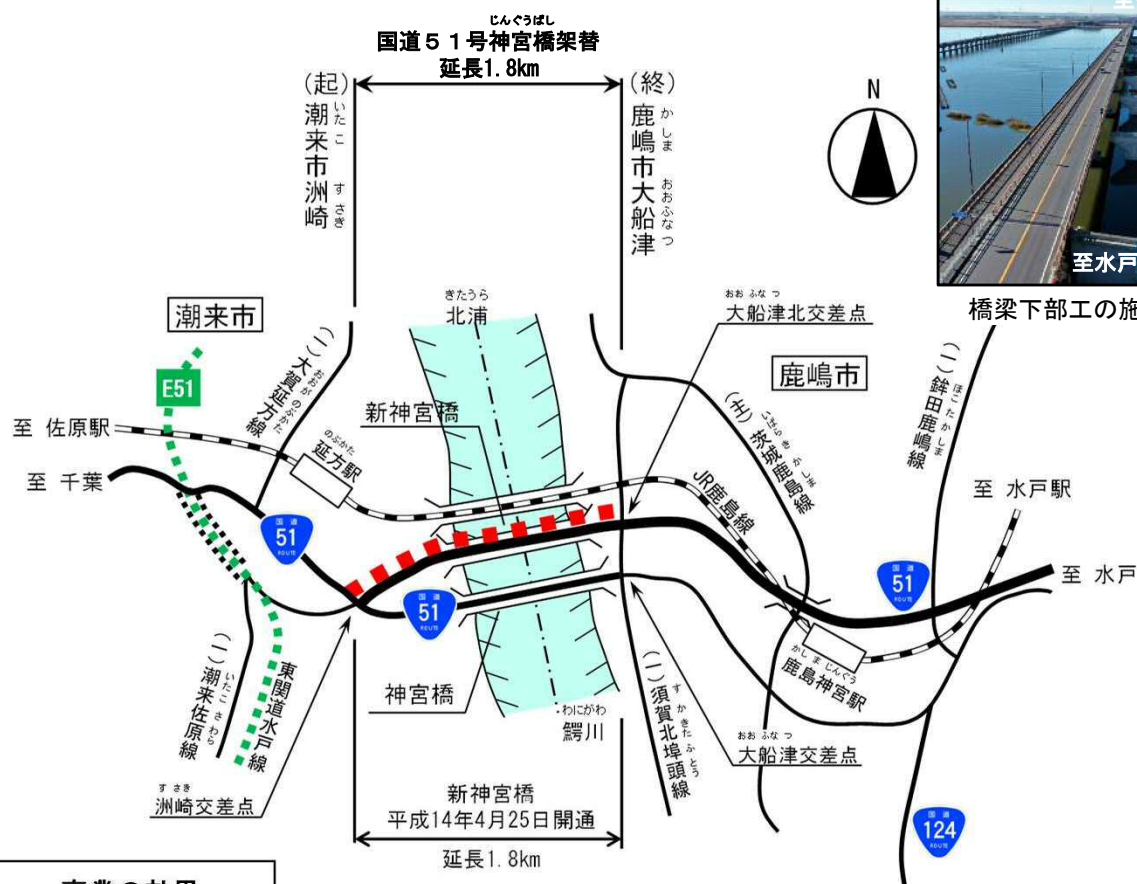
- 調査設計、橋梁下部工事を実施し、橋梁上部
工事に着手する予定です。



国道51号神宮橋架替周辺の状況



橋梁下部工の施工状況（令和4年12月撮影）



事業の効果

○じんぐうばし老朽化した神宮橋の架け替えを実施することにより、安全・安心な道路ネットワークが形成されます。

こづるにし
⑪国道6号 小鶴西交差点周辺改良
(茨城町)

R5年度事業費 70百万円

事業の概要

当該箇所は、国道6号と県道大洗友部線おおあらいともべが接続する十字交差点で、近傍には茨城中央工業団地が立地しており、県道を利用する右左折車両が多いため、追突等の事故が発生しています。

そのため、交差点周辺の延長0.9kmの区間において、付加車線を設置するとともに右折レーンを延伸し、事故の低減を図るものです。

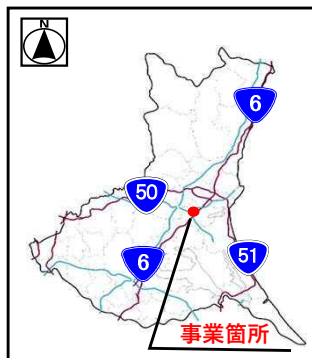
■現地状況



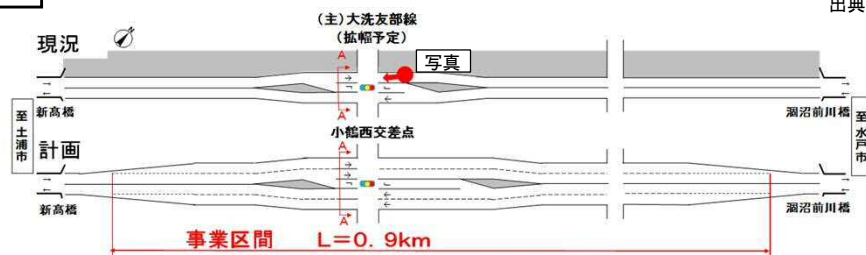
令和5年度予定

令和5年の完成に向け、調査設計、工事を実施する予定です。

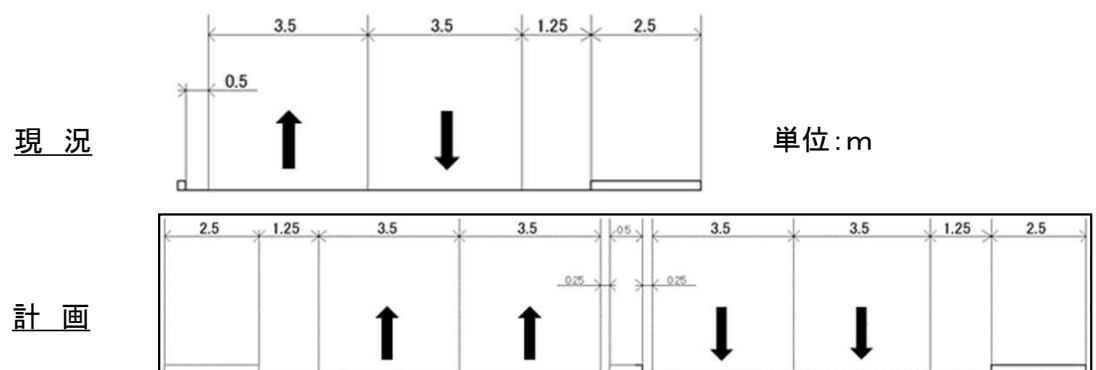
■位置図



■平面図



■横断面図



事業の効果

○付加車線設置と右折レーンの延伸により、交通流が円滑化され、追突事故の低減が期待されます。

いづみちょう
⑱国道50号 泉町歩道橋整備
(水戸市)

常陸河川国道事務所

R5年度事業費 90百万円

事業の概要

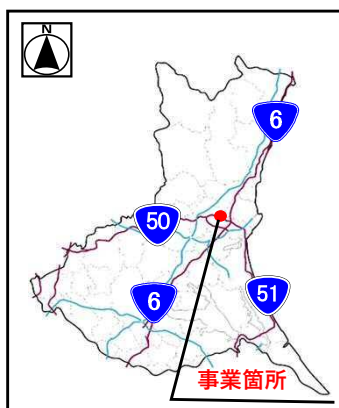
みと いづみちょう
国道50号水戸市泉町において、県、市などと連携しながら、周辺再開発事業と一体化した安心して通行できる空間の確保を目的に、歩道橋の整備を行うものです。

令和5年度予定

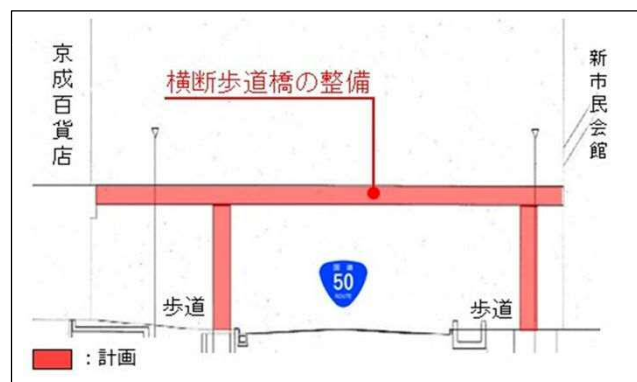
令和5年度の完成に向け、工事を実施する予定です。



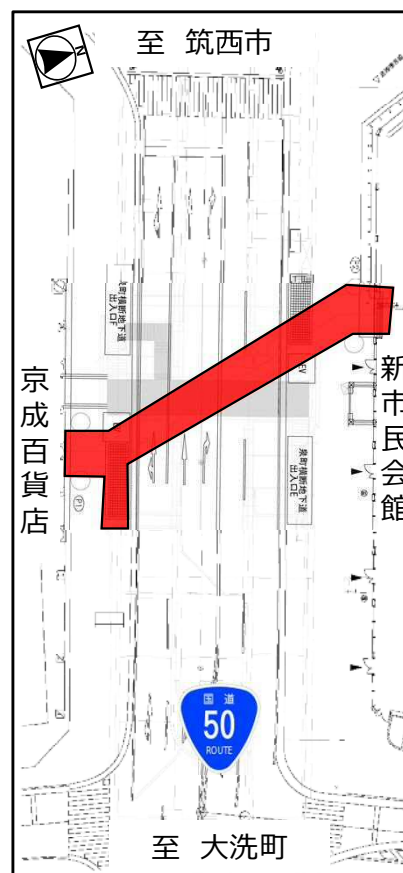
■位置図



■断面図



■平面図



事業の効果

○歩道橋の整備により交通の円滑化が期待されます。

⑬国道51号 子生歩道整備
(銚田市)

常陸河川国道事務所

R5年度事業費 290百万円

事業の概要

国道51号子生地区は、近傍に旭東小学校・旭中学校が立地しており、通学路に指定されておりますが、歩道幅員が狭隘であるため、危険な状況となっております。

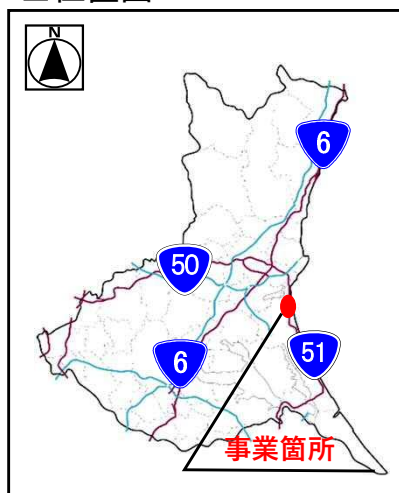
このため、銚田市子生から玉田までの延長約1.0kmの区間において、既設歩道の拡幅を行うものです。



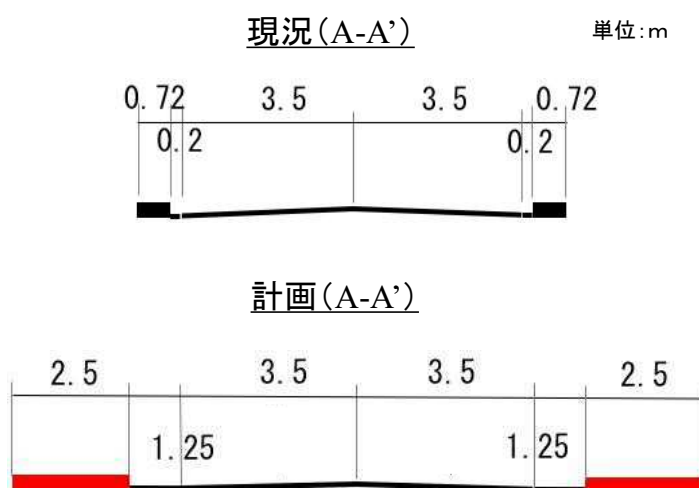
令和5年度予定

令和5年度は、調査設計、用地買収、工事を実施する予定です。

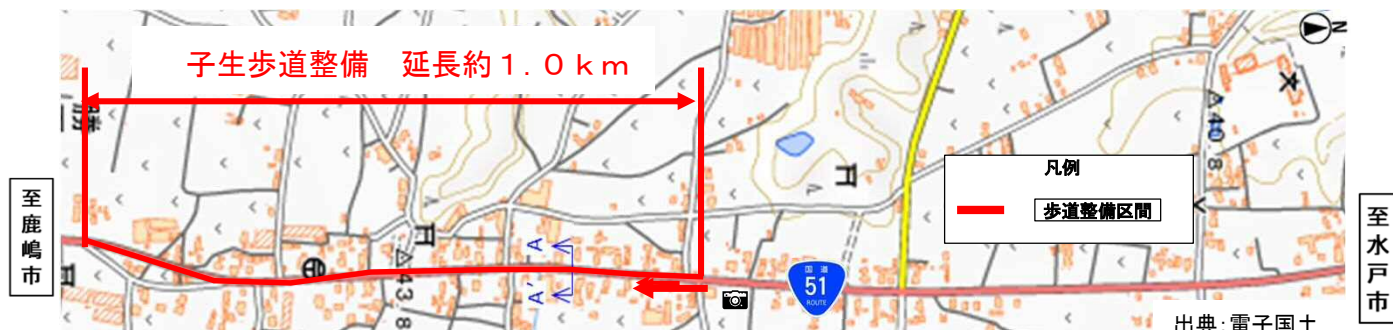
位置図



横断面



計画平面図



事業の効果

○歩道を整備することで、歩行者の安全・安心な通行空間が確保されます。

た び こ
②国道 6 号 田彦電線共同溝
(ひたちなか市)

常陸河川国道事務所

R 5 年度事業費 6 0 百万円

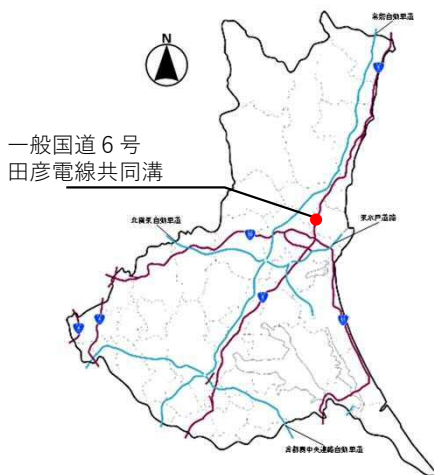
事業の概要

国道 6 号^{た び こ}田彦電線共同溝は、茨城県^{いばらき}ひたちなか市市毛^{いちげ}～稲田^{いなだ}の延長約 6. 0 k m の電線共同溝整備事業です。

令和 5 年度予定

○ 調査設計を実施する予定です。

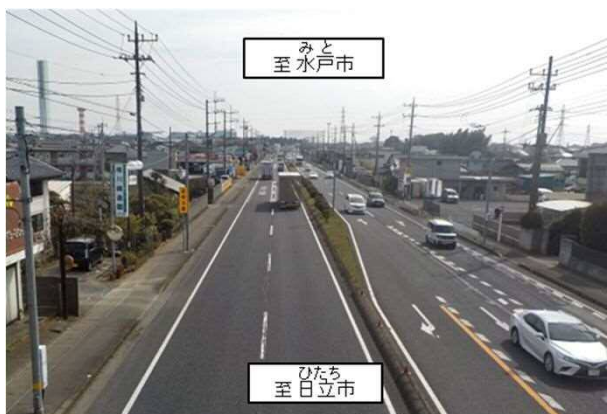
■位置図



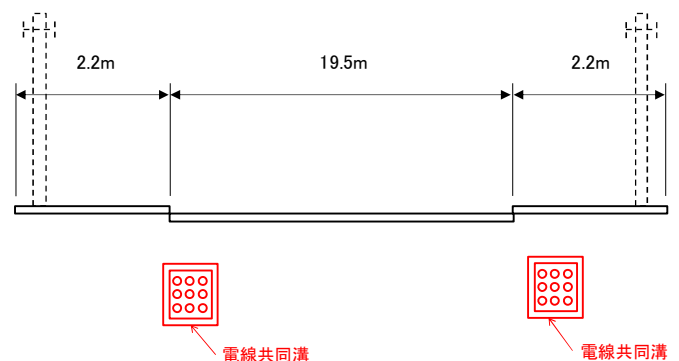
■平面図



■現地状況



■断面図



事業の効果

○無電柱化を推進することで、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点に寄与するものと期待されます。

道路維持管理

常陸河川国道事務所

宇都宮国道事務所

国道4号、6号、50号、51号

事業の概要

茨城県内(一部千葉県を含む)の国道4号、国道6号、国道50号、国道51号の4路線、総延長約328kmにおいて、良好な道路の機能を維持し、安全を保つため道路の維持管理を行っています。

令和5年度予定

一般交通に支障をきたさないよう道路を良好な状態に保つため、「道路パトロール」「落下物処理」「舗装補修」「清掃」「除草」「樹木の剪定」「除雪」などのほか、橋梁等の「点検」「補修」などを実施します。

また、地震時などの災害に備え「橋梁の耐震対策」「道路啓開訓練」を実施します。



令和5年度の道路調査の見通しについて（ネットワーク）

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

茨城県 国道6号 小美玉道路(仮称)

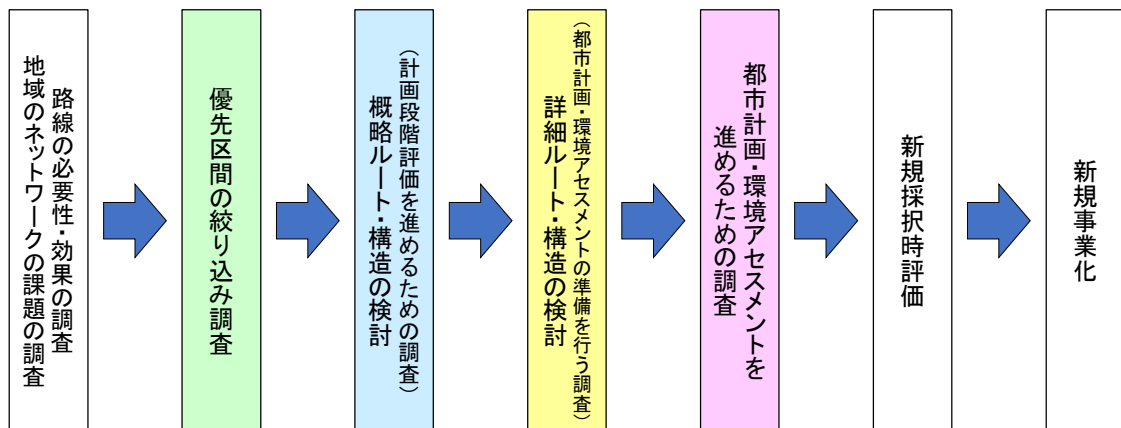
茨城県内の国道6号の未整備区間については、交通の円滑化を図るため、関係自治体と確認した当面の進め方を踏まえ、都市計画手続きや概略ルート・構造の検討に向けた調査を進めます。

鹿行南部地域^{ろっこう}への高規格道路アクセス向上のため、関係機関とともに基本方針の検討を進めます。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



令和5年度の道路調査の見通しについて（交通拠点）

潮来IC周辺において、関係自治体と連携し、地域の意向を把握しつつ、交通拠点における機能強化の必要性等の調査を実施します。

<交通拠点の調査の流れ>

